

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
白石市	深谷地区	平成25年3月	令和3年12月

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	724ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	405ha
③地区内における中心経営体以外かつ70才以上の農業者の耕作面積の合計	38ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	13ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	22ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	41ha
（備考）	
<p>地域の特色：市の北部に位置しており、北部は蔵王町と接している。農地は平坦部で圃場整備され、工業団地の立地も進んでおり、山間部においても圃場整備が進んでいる。 南蔵王山麓では酪農業・畜産業が盛んで、牧場・牧草地として土地利用が進んでいる。</p>	

2 対象地区の課題

農家の高齢化に加え、高価な農機具の購入経費をはじめとした農業生産費の上昇により、農業後継者が減少している。
また、山間地での有害鳥獣による被害が深刻化しており、遊休農地や耕作放棄地が発生することが危惧されている。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

基盤整備された農地については、担い手による集積が進んでおり、この担い手を中心経営体として農地利用をさらに進めていく。
また、将来にわたって農地が維持されるよう、新規就農者の育成、受け入れを促進していく。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

<p>（農地中間管理機構の活用方針）</p>
<p>担い手へ農地の集約化を目指し、農地中間管理機構の積極的なPRを図ることにより理解を深め、農地所有者が農地を貸し付ける際は原則として機構を活用する。</p>
<p>（地域での共同取組活動による農地維持）</p>
<p>多面的機能支払交付金事業などによる共同での農地維持の取り組みがない現状にある。 今後この事業の導入を促進して水路の土砂払いや草刈りなどを行うことにより、地域での共同活動による農地維持を推進し農地の保全に努める。</p>
<p>（中心経営体の支援）</p>
<p>農地の貸付意向を中心経営体に情報提供するとともに、農業法人・集落営農組織などの設立にむけて、行政とともに取り組んでいく。 行政に対して高額な農業用機械購入費補助制度の創設を働きかけ、担い手の経営安定と後継者の確保を図る。</p>
<p>（鳥獣被害防止対策の取組方針）</p>
<p>広範囲で面的な電気柵の設置や追い払いなどを実施し、地域ぐるみで鳥獣害対策の取り組みを目指す。</p>
<p>（新規・特産化作物の導入方針）</p>
<p>急傾斜地にある農地や面積が狭小な農地が多い集落では、米、麦などの土地利用型作物以外に、収益性の高い作物の生産に取り組むことを目指す。</p>
<p>（米価変動にかかる対応）</p>
<p>米の需給調整のため、作付転換を図り複合経営による収益を確保して、経営安定を図る。 また、畜産農家の多い地区においては、自給飼料の確保を含めた飼料用作物の作付けを促進する。</p>